

## 週日の説教

金 大烈 神父 2009年5月9日(土)

### 《キリストの名によって願ひましょう》

今日の福音(ヨハネ 14・7 - 14)では、目につく箇所が二つあります。

一つは、「わたしを信じる者は、わたしが行う業を行い、また、もっと大きな業を行うようになる。」(ヨハネ 14・12)

キリストを信じる人は、キリストが行ったのと同じような業を、キリストと一緒にいうこと

です。では、キリストは私たちにどのような業を見せてくださったのでしょうか。一番素晴らしい業は、ご自分の命をかけて愛を実現されたことです。

いろいろな奇跡も行われました。しかし、奇跡というものにはあまり意味はありません。聖書を読んで、奇跡を見せてくださったイエス様に夢中になり、このような不思議な力を持つことから神様の子に違いない、思っ

て信仰を持つことになったのなら、その人の信仰はあまり永くは続きません。イエス様を愛する理由、魅力を感じる理由が、「人間としてはありえない不思議な力を持っていること」ならば、その人は自分の信仰の姿をやり直さなければなりません。

なぜならば、奇跡というものはいつも起こっているからです。このように、私が一緒にミサを捧げているのも奇跡です。何も考えなくても心臓が動いているのも一つの奇跡です。ただ、私たちにはその奇跡を感じる心がないから、焦ってばかりいて、無駄なことを追いかけてしまうのではないかと思います。

とにかく今日の福音で、イエス様は、「私を信じる者は私が行った業を行わなければならない。」とはっきりおっしゃっています。私たちの行いが、キリストを信じていない人とどれだけ差があるか、いつも振り返って

みなければならぬと思います。キリスト信じていない人でもいろいろな奉仕の生活をしています。寄付もします。貧しい人に施し

もします。私たちは、キリスト信者でありながら本当に奉仕をしているのでしょうか。助けを求めている人に手を差し伸べて、その人が必要としていることをしてあげたことがどのくらいあるのでしょうか。

考えてみれば、キリストを信じる人と信じない人とでは、あまり差がないように思われることもあります。しかし、やはり行いでも違いがなくてはなりません。そういうことに対し、自分を厳しく見て

いただきたいと思います。自分の行動、自分の状態、自分の暮らしについて、冷静に見つめ、本当にキリストが教えてくださった業を行おうとしてきたか、いつも反省をしなければなりません。私自身も、本当にその業に与っているのか、毎日反省をしています。

二つ目です。「わたしの名によって願うことは、何でもかなえてあげよう。」(ヨハネ 14・13)

私たちは祈るときに、『キリストの名によって』とか『父と子と聖霊の御名によって』、そして時には、『私たちの主イエス・キリストの御名によって』と言いますね。

これは一つの方法です。人間は口にする言葉や行動によって気持ちが動かされる傾向があります。それは、環境によって影響を受けるとい

うことです。ですから、無意識のうちでも、『私たちの主、イエス・キリストの名によって』、という祈りが毎日何回も何回も繰り返されれば、自然にイエス様の名によって祈らなければならないことを意識するようになります。

イエス様が約束してくださった、「私の名によって願えばかなえてあげよう」という言葉を固く信じましょう。そしてもし、かなえてほしい願ひがあるならば、イエス様の名によって願ひましょう。

強く祈ってください。お金の名によって祈るのではなく、権力の名によって祈るのではなく、いろいろなかわりの名によって祈るのでもなく、キリストの名によって祈る姿が何よりも必要ではないかと思ひました。

ありがとうございました。